

# 中国海軍ニュース：青島基地の 093B 型核潜水艦

漢和防務評論 20181006(抄訳)

阿部信行

(訳者コメント)

今日の記事は、中国海軍青島基地の核潜水艦の状況を報告しています。6月に習近平が青島の潜水艦基地の 093B 潜水艦を視察し、彼は、核潜水艦は大発展の時代を迎えている、と述べたとのこと。中国中央テレビは、特に魚雷発射管に焦点を当てて放映し、1本の発射管には大型魚雷をもう1本の発射管にはロシアの 3M54E 型巡航ミサイルに似たミサイルが装填されていたとのこと。何が言いたいか、良くわかるテレビニュースではあります。



青島の核潜水艦基地 (グーグルアース)

**KDR 東京平可夫特電：**

この 6 月、習近平が 093B 型核潜水艦 (SSN) を視察した際、中国中央テレビは、同艦が装備する長距離ミサイルに故意に焦点を当てて放映した。直径 533 ミリメートル (MM) の魚雷発射管内には少なくとも一種の大型魚雷と一種の長距離ミサイルがあった。核潜水艦は” 長征 16 号 ” と称した。すなわち 16 艘目の核潜水艦である。

習近平は、自ら画面上で説明し：核潜水艦は大発展時代を迎えている、と述べた。中国海軍が現在保有している核潜水艦は、092 が 1 艘、091 が 5 艘、094

が 3 艘であり、この計算であれば 093A/B シリーズの核潜水艦は 7 艘のはずである。武器系統の画面は全て一部分だけであり、したがって慎重に見るべきであり、主観的な勝手な判断は禁物である。KDR は少なくとも 2 個の魚雷発射管は長距離ミサイルを発射できると判断している。発射管は専用であり、再装填の機能がある。

ロシアで設計された KILO-636 潜水艦は、2 個の魚雷発射管だけが 3M14/54 シリーズの対陸地、対艦ミサイルを発射できた。

中国が 3M54E シリーズを複製した対艦ミサイルは、YJ-18 と称され、対陸地攻撃型も開発された。今回内部が展示された 093B の長距離ミサイルは、YJ-18 であろうか？より多くの写真を見ないと分からない。長さから見ると、3M54E に近いようだ。

発射プログラムのソフトを輸入しさえすれば、魚雷発射管から発射される YJ-18 は、対艦型にもなり、対陸地攻撃型にもなりうる。写真の背景を分析した結果は:ここは青島第一核潜水艦基地である。2017 年 10 月から埠頭には 2 艘の 093B が滞留している。このほか 2 艘の 091 も存在している。1 艘は修理ドックに入った 093 の可能性がある。5 月 30 日の衛星写真によると、2 艘の 093B は依然として同じ位置に停泊していた。しかし 2017 年 5 月から 092 型 SSBN が見えなくなった。2015 年から唯一の 1 艘の 092 が同じ位置に長期停留している。092 は退役の準備であろうか？または新たに改修されるのであろうか？注目しなければならない。

KDR は、こ葫蘆島造船所に 092 型 SSBN らしき潜水艦を発見した。2018 年の年初からここにいる。

ロシア軍の自国版 54、14 シリーズ多用途ミサイルの射程から見ると、対艦ミサイルとして使用した場合、射程は 300KM 以上、対陸地攻撃の場合、すでにシリアにおいて使用されたが、射程は 1500KM 以上である。

093B は戦略攻撃能力を有する。しかしこの潜水艦も今年、日本の海上自衛隊によって発見され、48 時間以上も追跡された。

以上